

「空手道について」

平成29年2月26日
西東京本部 浜田山支部
大井秀敏

このたび、二段補受験の機会をいただきまして、ありがとうございます。月心会の大きな特徴のひとつである「親子空手」と共に私も、そして私の三人の子供たちもそれぞれに多くを学んで参りました。大変感謝しております。

親子で空手をすることによって、共通の目標を得て、私は子供たちとの距離感が近くなり、それは同時にこれから次第に思春期を迎える彼らにとっても、父親を身近に感じる貴重な機会をあたえられていると心から実感しています。今後はより多くの練習生の皆様と共に、この喜びを共有しながら、あらためて親子空手に込めた宗家の思いに少しでも寄り添い続けていけたら、と考えております。

翻って、私自身のことをひとつ挙げますと、二段補昇段後はすでに取り組んでいるヌンチャクに加えて、自分が真剣に取り組める古武道術をもう一種目選び、月心会のもうひとつの大きな特徴である、「総合武術道」について自分なりにさらに理解を深めていこうと思っております。

黒帯／初段になった三年前もそうでしたが、二段補に昇段してからこれからは本番という気持ちがより強くなっております。今後は後進の方々に指導させて頂く機会がさらに増えるとおもいます。他の方に技を教えることにより、必ずや自分自身も進化できるはず、と私は強く信じております。綿々と続いていく琉球空手の伝統を後進の方々にお伝えしていく役割を、微力ながら自分なりに真剣に考えながら進んでいきたいと思っております。

今後ともご指導そしてご鞭撻のほど、何卒宜しくお願いいたします。